

2019年度 全国少年少女山口県予選大会 競技規定

山口県空手道連盟 審判委員会

I. 道着について

- ① 空手着には道場名および山口県スポーツ少年団のワッペンだけは表示してもよい。
- ② 全国大会のワッペンや日の丸は表示してはならない。
- ③ 帯は主催者側で用意するが、マイ帯を推奨する。
- ④ 選手の頭髪についてはJKF競技規定を遵守すること。
(ヘアークリップ、金属性のヘアピンの使用およびツインテールは不可)
- ⑤ 空手着メーカーについては指定しない。

II. 形競技

- ① **ベスト4を選出するまでは**
全空連基本形（ゲキサイ第1・第2、平安、又はピンアン初段～5段）の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武する事ができる。
(但し、選手数が16名未満の場合はベスト2を選出するまで、全空連基本形とする。)
- ② **準決勝および決勝戦は**
全空連第1指定形、第2指定形、又は1, 2回戦でまだ演武していない形の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武する事ができる。
(但し、選手数が16名未満の場合は決勝戦のみとする。)
- ③ 3位決定戦を行う。
3位決定戦は全空連基本形から選択する。(それまでに演武した形も使用できる。)
- ④ 演武はベスト4を選出するまでは2名ずつ行ない、準決勝および決勝戦は1名ずつ行う。
(但し、選手数が16名未満の場合は決勝戦のみ1名ずつとする。)
- ⑤ 演武開始は主審の笛の合図で行う。
- ⑥ 選手の競技場内への入り方は全少本大会に合わせ、コート後方角より斜めに入る方法とする。

III. 組手競技

- ① 『12歳未満』のルールを適用する。
- ② 勝敗は6ポイント差とする。
- ③ 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
- ④ 安全具；全空連検定メンホー(No.5以上)、全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター、ボディプロテクター、全空連検定小学生インステップガードおよびシンガードを装着すること。
小学生3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを装着すること。
(但し、1, 2年生は所属指導者の責任において装着は任意とする。)
- ⑤ テンカウトルールは採用しない。
- ⑥ 3位決定戦を行う。

IV. その他

- ① 監督・コーチは競技場内には入れません。
- ② 競技場内へは『安全具・帯・タオル類、その他審判長が認める物』以外の持ち込みは禁止します。

以上